

## ■注目コンテンツ①

※敬称略

### 「北海道次の 150 年の風景」--ヒントとリソースで考える未来予測--

○日時：2020年10月28日（水）AM10:30～12:00

○会場：会場内「主催者セミナー」ステージ

○定員：100名（無料・要聴講事前登録）

○パネラー：

- ・山本 強（北海道大学 産学・地域協働推進機構 特任教授）
- ・土屋 努（北海道大学 客員教授・株式会社セラフ 会長）
- ・樋泉 実（北海道大学 客員教授・電通総研フェロー・HTB 相談役）
- ・小川 和也  
（北海道大学 客員教授・グランドデザイン株式会社 代表取締役社長）



○シンポジウム概要

北海道の 150 年は 国土の 22% という広さと厳冬期を抱える気象条件の厳しさなどハンデとの闘いでもありました。一方で、進行中の社会のデジタル化、ソサエティ 5.0 化は、このハンデを逆にチャンスに変えることができる技術革新でもあり、課題が明確な北海道だから出来る分野が数多くあります。

これまでの 150 年のキーワードは「開発」でしたが、次の 150 年は「未来の創造」です。北海道は広義の資源・リソースがたくさんあります。それをどう活用して未来を創造するかのビジョンが求められています。北海道大学では「北海道の新たな 150 年を考える」をテーマにして、産・学・官が議論するシンポジウムシリーズ「北海道 150 シンポジア」を昨年発足しました。その発起人らが、それぞれの専門分野からのヒントと北海道のリソースを掛け算することで、北海道の次の 150 年を未来予測します。

## ■注目コンテンツ②

※敬称略

### 「観光事業者にとっての防災・減災業務を考える」

○日時：2020年10月28日（水）14:30～16:30

○会場：会場内「主催者セミナー」ステージ

○定員：100名（無料・要聴講事前登録）

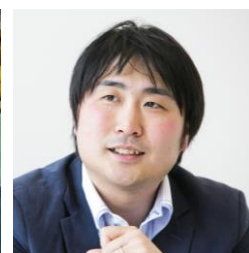
○主催(共催)：公益財団法人はまなす財団 新観協研

○座長：

- ・北海道大学観光学高等研究センター 准教授 石黒 侑介

○事例発表者：

- ・東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤 翔輔



○講演概要

観光地域づくりの推進組織である道内の観光協会が集い、地域の持続的発展を牽引する新たな実践策を議論する公開型研究会を開催します。

「そもそも」防災・減災とは何かという枠組みを提示した上で、観光事業者がどのように備えるべきかを議論・提示します。あわせて観光事業者が被災した事例、観光者の備え・認識の実態、被災した地域の観光事業のその後、など実事例などを共有します。